

題名 真の平和とは

鹿沼市立北中学校 (氏名) 大柿 杏莉



私は、この広島派遣事業に行くまで平和の価値観を見つけることができていませんでした。なぜなら、まだ悲惨な経験をしたことがないため、常に「幸せだ」と言える生活を送っているからです。しかし、広島に行き平和記念資料館の見学や、被爆者の方の講話を聴いた後、実際自分が悲惨な思いをしたわけでも、関わったわけでもないのにとっても胸が苦しくなりました。きっと自分も同じ立場にいたら悲しい・苦しい・辛いといった感情をいだくだろうと想像したからだと思います。相手の立場に立って初めて、ものの残酷さや悲惨さを感じました。それらを理解したうえで考える平和とは、「二度と同じ過ちをおかすことなく、誰もが豊かで幸せだと思える日々を過ごすこと」だと思いました。そのようにするためには、戦争を起こした側の背景も理解するべきだと思います。また戦争の原因の1つとして貧富の差があると思うので、貧困者の救済が平和へ繋がると思いました。今後の世の中が平和になるよう、自分たちにできることは何かと常に考え行動していきたいです。